価値創造プロセス

当社グループは、これまで培ってきた5つのコア技術をもとに、4つの事業領域で事業活動を展開します。 さまざまな社会的課題および変化を認識したうえで特定したマテリアリティ(重要課題)への取り組みを推進することで、 社会とともに持続的な成長を果たしたいと考えています。

社会的課題•変化

気候変動の進行

地球環境の危機

健康問題の深刻化

食糧問題の深刻化

リスクの多様化

企業間競争の激化

ライフスタイルの変化

サプライチェーンにおける CSR配慮への要請の高まり

労働環境における健康・ 安全への配慮要請の高まり

スマート社会の到来

労働力不足

コーポレート・ガバナンス 改革への関心の高まり

情報開示要請の高まり

マテリアリティ (重要課題)

事業領域

顕在・潜在ニーズに適応する、新たな技術・製品

人々の豊かな暮らしに 役立つ新たな価値の提供



自社の事業基盤の強化



レスポンシブル・ケア 活動の継続的強化



情報 通信 強み 人材 研究開発力 財務基盤 環境 エネルギー

コア技術

精密有機合成、機能性高分子設計、微粒子制御、生物評価、光制御

ビジネスモデル 独自の革新的な技術で社会の要請に

戦 略 中期経営計画『Vista2021』 長期経営

アウトプット (主要製品)

を生み出す

情報通信

ディスプレイ材料 半導体材料 光配線材料



ライフサイエンス

医薬品 動物用医薬品 生体材料



環境エネルギー オイル&ガス材料 二次電池材料



基盤

基礎化学品 ファインケミカル

応える未来創造企業

計画『Progress2030』

月標

【売上高】

2021年度:2,500億円 2030年度:3,000億円

【営業利益】

2021年度:400億円 2030年度:500億円

【経営指標(2018年度)】

売上高営業利益率:

15%以上

ROE: 14%以上

売上高研究開発費比率:

1以88

【株主還元(2018年度)】

配当性向:40% 総還元性向:70%の維持

【総合職に占める女性社員比率】

2021年度:10%

【温室効果ガス】

排出量:

2021年度までに2011年度比

20%削減

原単位(排出量/売上高):

2021年度までに2011年度比

40%削減

【産業廃棄物】

2021年度:

リサイクル率99.5%以上

【労働安全衛生】

2021年度:

休業災害ゼロの達成

目指す姿 (2030年の企業像)

グローバルに変化する 社会と向き合い、社内外 の知を融合することで 人々の豊かな暮らしに 役立つ新たな価値を提供 する企業グループ

培った信頼と磨き上げた 技術により、情熱をもって 未来を切り拓く、一流の 挑戦者集団